

菩薩として生きる

加茂法話会

令和五年七月二十五日

仏・如来と菩薩の違い

仏・如来…「さとりをひらいたお釈迦さまをモデルにしています。そして、お釈迦さま以前にもさとりを開いた仏さまがある、という考えから大日如来などの仏さまも誕生しました。またそれらは、仏さまの教えそのものをも表しています。」

菩薩…「さとりを目指して修行をしているお釈迦さまがモデルです。また菩薩とは自分のための修行をしながらも、他の人びとを救わんとするものも意味しています。観音菩薩や地藏菩薩など私たちになじみのある仏像が多くあります。」

〔曹洞宗檀信徒必携〕

菩薩は、サンスクリット語で「bodhisattva」

bodhiは「悟り」、sattvaは「存在」または「衆生」

「悟りに向かう存在・衆生」

菩薩は、自分だけでなく、他の衆生も救済することを誓った者であり、無限の慈悲と智慧を持っている

様々な菩薩がいるが、共通しているのは人々の願いや苦しみに応えてくれる

他の衆生を救済 Ⅱ 利他行

『修証義』の中の四摂法 布施・愛語・利行・同事は利他行

自分だけが良ければいいという思いではなく、自分も他人もみんなにとって幸せであるように行動する

仏さまの教えを支えに生きる私たちは菩薩

菩薩として生きて行くことで皆が幸せになれると信じる